

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2009-14566(P2009-14566A)

【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-003

【出願番号】特願2007-177631(P2007-177631)

【国際特許分類】

G 01 R 31/36 (2006.01)

H 01 M 10/48 (2006.01)

【F I】

G 01 R 31/36 Z

H 01 M 10/48 P

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月10日(2011.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の電池の残容量を検出する第1の電池パックに前記第1の電池の残容量を補正するための第1の補正情報を供給し、第2の電池の残容量を検出する第2の電池パックに前記第2の電池の残容量を補正するための第2の補正情報を供給するための供給手段と、

前記第1の電池パックの電圧と、前記第2の電池パックの電圧とを用いて、前記第1の補正情報及び前記第2の補正情報を制御する制御手段とを有することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

前記第1の補正情報は、暗電流に関する情報及び前記第1の電池パックに関する容量オフセット情報の少なくとも一つを含み、

前記第2の補正情報は、暗電流に関する情報及び前記第2の電池パックに関する容量オフセット情報の少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記第1の電池パックの電圧が前記第2の電池パックの電圧よりも大きい場合、前記第1の補正情報には、暗電流に関する情報が含まれ、前記第2の補正情報には、暗電流に関する情報は含まれないことを特徴とする請求項2に記載の電子機器。

【請求項4】

前記第1の電池パックの電圧が前記第2の電池パックの電圧よりも小さい場合、前記第1の補正情報には、暗電流に関する情報は含まれず、前記第2の補正情報には、暗電流に関する情報が含まれることを特徴とする請求項2または3に記載の電子機器。

【請求項5】

前記第1の電池パックの電圧と前記第2の電池パックの電圧とが等しい場合、前記第1の補正情報及び前記第2の補正情報には、暗電流に関する情報が含まれることを特徴とする請求項2から4のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項6】

前記第1の電池パックに関する容量オフセット情報は、前記第1の電池パックから前記電子機器への伝送経路の抵抗に関する情報であり、前記第2の電池パックに関する容量オ

フセット情報は、前記第2の電池パックから前記電子機器への伝送経路の抵抗に関する情報であることを特徴とする請求項2から5のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項7】

前記第1の電池パックは、前記電子機器から供給される前記第1の補正情報に応じて、前記第1の電池の残容量を補正し、

前記第2の電池パックは、前記電子機器から供給される前記第2の補正情報に応じて、前記第2の電池の残容量を補正することを特徴とする請求項1から6のいずれか1項に記載の電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子機器

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、電子機器に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、高精度な電池の残容量を検出するようにすることを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る電子機器は、第1の電池の残容量を検出する第1の電池パックに前記第1の電池の残容量を補正するための第1の補正情報を供給し、第2の電池の残容量を検出する第2の電池パックに前記第2の電池の残容量を補正するための第2の補正情報を供給するための供給手段と、前記第1の電池パックの電圧と、前記第2の電池パックの電圧とを用いて、前記第1の補正情報及び前記第2の補正情報を制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明によれば、高精度な電池の残容量を検出することができる。